

# プラチナ製剤使用後進行・再発子宮体がんに対するレンバチニブ+ペムプロリズマブ併用療法の安全性と有効性を検討する観察研究

## 1．研究の対象

1レジメン以上のプラチナ製剤を含む化学療法が前治療として行われ、2022年1月から2024年12月の期間にLEN+PEM併用療法による治療を開始した進行・再発子宮体がん患者さんを対象とします。なお、術前化学療法や再発予防を目的とした術後補助化学療法も前治療に含めます。

## 2．研究目的・方法

研究期間：研究機関の長の許可日から2030年3月31日

プラチナ製剤使用後の進行・再発子宮体がんに対するLenvatinib (LEN) + Pembrolizumab (PEM) 併用療法の本邦における使用状況を調査し、その安全性および有効性を評価します。

## 3．研究に用いる情報の種類

年齢、身長、体重、検査方法、がんの既往歴、治療方法 等

なお、患者さんの氏名、住所など個人を直ちに特定できる情報は含みません。

## 4．外部からの情報収集

情報収集は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。

## 5．情報の提供先

患者さんの臨床情報は、大阪婦人科腫瘍研究会の研究事務局である大阪大学大学院 医学系研究科 産科学婦人科学教室へ提供され、研究のための解析に供されます。

## 6．研究組織

大阪婦人科腫瘍研究会 (GOGO)

大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室

GOGO 協力施設 (添付資料参照)

## 7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒135-8550 東京都江東区有明 3-8-31

TEL：03-3520-0111

公益財団法人 がん研究会有明病院 婦人科 温泉川 真由

研究責任者（研究代表者）：

大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室 木村 正

## 研究機関一覧

1	市立芦屋病院 産婦人科
2	市立伊丹病院 産婦人科
3	大阪警察病院 産婦人科
4	地域医療機能推進機構 (JCHO)大阪病院 産婦人科
5	大阪国際がんセンター 婦人科
6	大阪急性期・総合医療センター 産婦人科
7	大阪労災病院 産婦人科
8	大手前病院 婦人科
9	市立貝塚病院 産婦人科
10	関西ろうさい病院 産婦人科
11	済生会中津病院 産婦人科
12	堺市立総合医療センター 産婦人科
13	市立吹田市民病院 産婦人科
14	市立豊中病院 産婦人科
15	県立西宮病院 産婦人科
16	日本生命病院 産婦人科
17	阪南中央病院 産婦人科
18	ベルランド総合病院 産婦人科
19	箕面市立病院 産婦人科
20	産業医科大学 産科婦人科学
21	福岡大学医学部 産科婦人科学講座
22	がん研究会有明病院 婦人科
23	大分大学医学部 産科婦人科